

問題 その2 地面におそべるあやしい人。
これなんだ？
次の二つの中からえらんでね！

1. つかれはてて休んでいる
つかれたときにはねるのが一番？
2. 深い柱のあとを掘っている
ねないと手がとどかないのよ！



ヒント かたわらにはヒシャクが・・・。

2. 深い柱のあとを掘っている

ピンポン、ピンポン、ピンポーン！！

せいかい！よくわかったね・・・

これは、発掘調査のひとつまだよ。古墳（こぶん）時代の家のあとがみつかって、屋根をささえた柱のあとを調べているところなんだけど、とっても深い穴なので、のぞいてみても、深くてくらくて土のようすがわからないんだ。むやみに掘ると、柱の穴のあとを壊してしまう。それにしゃがんで掘っていると、手がとどかないんだ。それで、地面におそべって、シャベルから伝わる感触（かんしょく）をたよりに掘り進めるんだよ。それでも手がとどかない時は、わきにあるヒシャクやオタマが活躍することもあるんだ。

大昔のことを調べる発掘調査は、大勢の人の協力で実施できているんだけど、日々の調査は、夏には暖房完備、冬には冷房完備で、泥だらけ、汗まみれになって作業してくれる、アルバイトの協力員さんたちの力でなりたいっているんだよ！

くわしくは、「かいせつ」も見てね！



※緑区・大在家遺跡（おおざいけいせき）の発掘調査のようす。